

人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺

# 第2次田辺市総合計画《概要版》



和歌山県田辺市

## 第2次田辺市総合計画の構成

### 基本構想

まちの将来像やまちづくりの基本方向を示し、計画的にまちづくりを進めていくための基本指針

【計画期間 10年（平成29年度～平成38年度）】

#### 基本理念

一人ひとりが大切にされ、幸せを実感できるまちづくり

#### 将来像

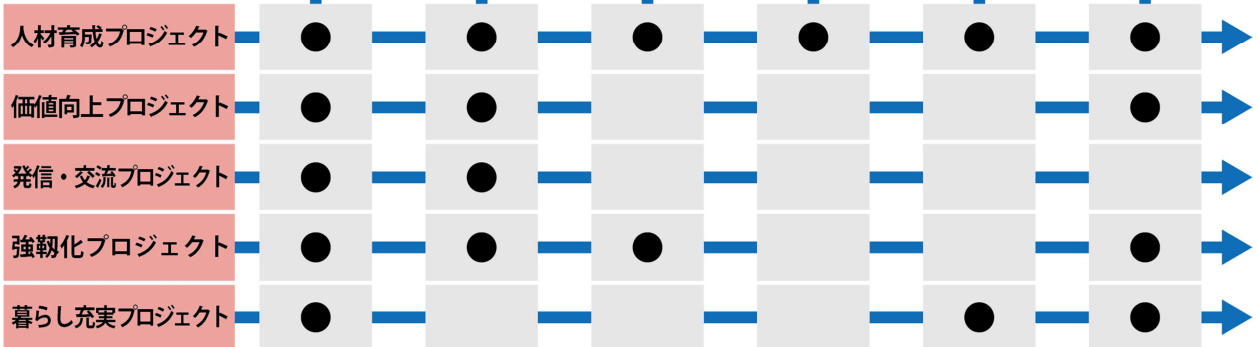
人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺

#### 基本方向



### 重点プロジェクト

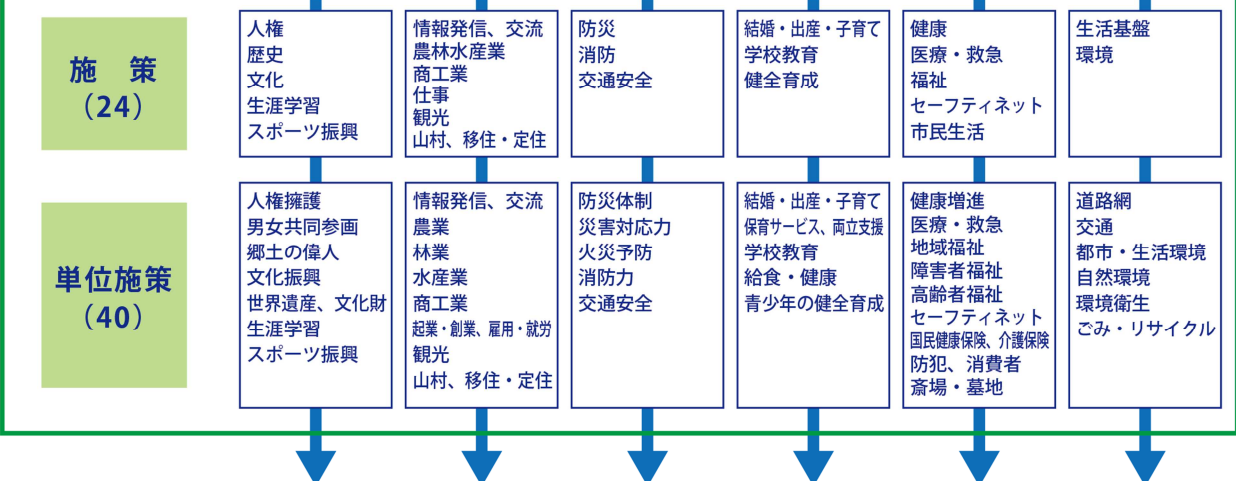
将来像の実現に向けて、体系的な政策・施策の下、取り組む基本計画とともに、各政策にわたる横断的な施策の連携を強め、戦略的にまちづくりを進めていくものとして位置付け



### 基本計画

将来像を実現するための具体的な施策の方針や展開等を総合的かつ体系的に示したもの

【計画期間 5年（平成29年度～平成33年度） ※5年で見直し】



## まちづくりの理念

### 一人ひとりが大切にされ、幸せを実感できるまちづくり

「第1次田辺市総合計画」では、「一人ひとりが大切にされ、幸せを実感できるまちづくり」を基本理念としたまちづくりを進めてきました。

この理念は、今後も引き継いでいくべき大切な、そして、不変的なものであり、「第2次田辺市総合計画」においても、継承することとします。

## まちの将来像

### 人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺

田辺市は、豊かな自然や歴史、文化など人々の心と体を癒やす地域資源と都市的機能を有機的に結び付け、また人と人、地域と地域、産業と暮らしのつながりを深めながら、紀南地域の中核都市としての発展を図り、存在感のある「新地方都市」を築き上げてきました。

また、豊かな地域資源を生かした市民主体の地域づくりが広がる中で、新たなビジネスへと展開する動きも出てきています。

そうした中、本格的な人口減少社会を迎え、地方創生の動きも背景として、地域の個性豊かな魅力を生かしたまちづくりがこれまで以上に求められています。また、一人ひとりが暮らしに求める価値観がますます多様化しています。

そうした状況を踏まえ、田辺市が目指すべきものは、一人ひとりが豊かな自然や歴史、文化、そしてその中で育まれてきた田辺らしさを大切にしつつ、一人ひとりの活動を地域の高まりにつなげ、世界と価値を共有し、未来へとつながる持続可能なまちづくりです。

一人ひとりが生きがいや夢の実現を目指し、それぞれの暮らしを高めることで、地域の質が高まり、そして、その魅力を世界へと発信し続けることで、世界中から人の流れを呼び込む求心力が生まれます。世界中の人々との交流が生まれることで、地域の質は更に高まり、一人ひとりが更に輝きを増していきます。そして、一人ひとりの輝きが増せば、地域の質はより一層高まり、まちの魅力はますます高まっていきます。

こうした好循環を生み出し、未来へとつながる持続可能なまちづくりを進めるためには、一人ひとりが、これまでに築き上げた「新地方都市」の上に立って、自分らしさを高めていくことが大切です。

このような考えに基づき、まちの将来像を『人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺』とします。

## まちづくりの基本方向

### 1 人

いにしえから誰をも分け隔てなく受け入れてきた熊野を有する地として、その精神を大切にしながら、人と人との認め合い、支え合う土壌を守り、そして継承するとともに、心豊かに人生を歩むことのできる環境を整えます。

### 2 活力

地域の文化を育んできた農林水産業や商工業を守り、そして強化していくとともに、質の高い観光地づくりなど、世界を視野に入れた活動を展開します。

また、本市出身者のふるさと回帰を促進するなど、新たな人の流れを創出するとともに、様々な分野における交流を推進します。

### 3 安全

地震や津波、台風等に伴う集中豪雨による被害を最小限に食い止め、そして市民生活や経済活動を早期に回復させるため、一人ひとりの防災意識をはじめ、きずなによる地域の力や行政の機能を高めるとともに、連携を強化しながら、強くてしなやかな災害対応力を築きます。

また、消防力の強化などにより、安全で住みよい社会を形成します。

### 4 希望

将来への展望も持ちながら、安心して子供を産み育てることのできる環境を創出するとともに、未来の希望である子供たちが、ふるさとへの誇りと愛着心を抱き、力強く生きることのできる力を育みます。

### 5 安心

誰もが住み慣れた地域や家庭で、共に助け合いながら、健康で安心して、希望を持って暮らすことのできる生活を確保します。

### 6 快適

多様な価値観に応じて、市民が住んでよかった、来訪者も住んでみたいと思える、良好で快適な生活空間づくりや、国内外との交流を視野に入れた機能的な基盤づくりを進めるとともに、自然と暮らしの調和を図りつつ、豊かな自然環境を保全し、未来へ継承します。

## 計 画 推 進

### 1 連携・協働・参画

市民と行政の協働を中心としながら、大学や企業との連携を進め、多様な参画による地域社会の形成を図ります。

### 2 地域コミュニティカ

地域住民同士が互いに支え合い、助け合う意識の醸成を図るとともに、自治組織を中心とし、様々な場面において共助の力が発揮される体制を築きます。

### 3 健全な行財政運営

「田辺市行政改革大綱」に基づき、更なる行財政改革を進め、時代や市民需要に即したより良い行政サービスを提供するとともに、行政運営能力の向上と財政基盤の強化を図ります。

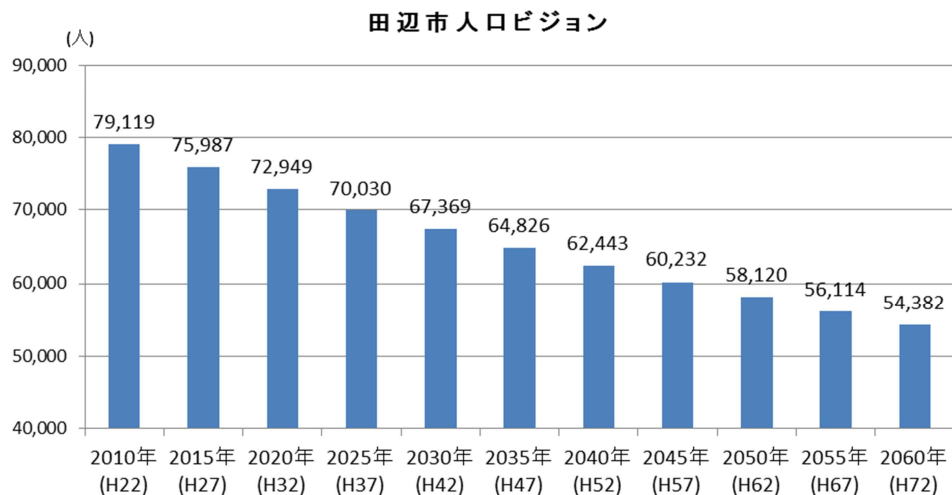
### 4 広域連携

周辺自治体をはじめとする県内外の関係自治体との連携を強化し、効率的かつ効果的な広域活動を展開します。

## 人口の将来展望

田辺市の出生率は、現状では国や県平均よりも高い水準にあり、今後は、このポテンシャルを生かしながら、国や県が推進する少子化対策を最大限に活用しつつ、市独自の子育て支援等に取り組むことで、子供を産み育てやすい環境のより一層の充実を目指します。

また、本市出身者のうち、特に若年層のふるさと回帰を促す魅力的な仕事の創出や情報発信等をはじめ、子育て支援の充実による子育て世代の転入促進と転出防止、移住希望者に対する「I・Jターン」施策の充実等を図ることで、県と同水準の社会増減を目指し、「田辺市人口ビジョン」に示す目標人口の実現を図ります。



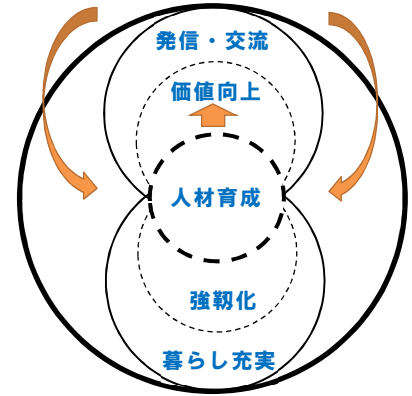
※2010年（H22）の人口は、総務省「国勢調査」による。

※2015年（H27）以降の人口は、「田辺市人口ビジョン」による。

## 重点プロジェクト

将来像「人と地域が輝き、未来へつながるまち田辺」の実現に向けて、体系的な政策・施策の下、取り組む基本計画とともに、各政策にわたる横断的な施策の連携を強め、戦略的にまちづくりを進めていくものとして、重点プロジェクトを位置付けます。

この重点プロジェクトでは、将来像の考え方に示す「未来へつながる持続可能なまちづくり」の担い手を育む「人材育成プロジェクト」を基本とし、これまでに築き上げてきた地域の質を更に高める「価値向上プロジェクト」と、その魅力を世界に発信し、交流を推進する「発信・交流プロジェクト」を展開します。また、南海トラフ地震等に備える「強靱化プロジェクト」と、市民の生活を支える「暮らし充実プロジェクト」を着実に進めます。



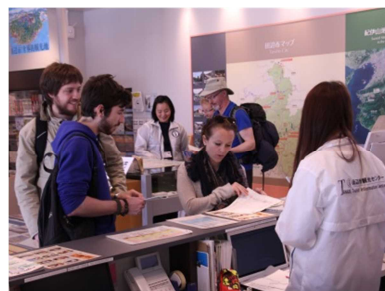
### 1 人材育成プロジェクト

「未来へつながる持続可能なまちづくり」を担う人材の育成を図ります。



### 2 価値向上プロジェクト

世界にも視野を広げ、これまでに築き上げてきた地域の価値を更に高めます。



### 3 発信・交流プロジェクト

本市の魅力を発信することで世界から人を引き付け、そして、交流を推進します。



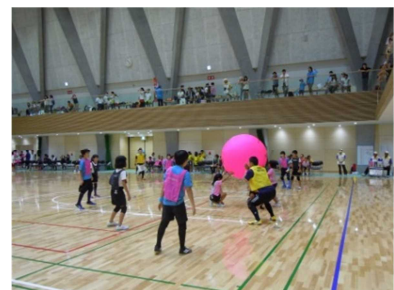
### 4 強靱化プロジェクト

市民・地域・行政がそれぞれの防災意識を高め、連携を図りながら、南海トラフ地震をはじめとする自然災害に備えます。



### 5 暮らし充実プロジェクト

まちづくりの基礎・基盤となる取組として、未来へつながる持続可能なまちづくりを支えます。



## 計画策定の趣旨

人口減少に歯止めをかけるとともに、交流人口の増大、地域経済の活性化を具体化していく地方創生の推進や、あらゆる災害に対して強くしなやかなまちを築く国土強靱化をはじめとした種々の課題が山積している状況を踏まえ、市民の皆さんとともに新たなまちづくりを進めていけるよう、今後 10 年間におけるまちづくりの基本指針として、「第 2 次田辺市総合計画」を策定しました。

---

## 第 2 次田辺市総合計画 《概要版》

平成 2 9 年 7 月

---

### 発行 田辺市

〒646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町 1 番地

TEL 0739-22-5300 (代)

URL <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

編集 企画部 企画広報課

---